

除幕された鬼瓦

=金沢市安江町



屋根の「ふき替え工事が進む真宗大谷派金沢別院(金沢市安江町、東別院)本堂で13日、建物の頂部を飾る鬼瓦の設置作業が行われた。総重量1・1tの瓦2個がそれぞれ三つに分けて大型クレーンでつり上げられ、地上30・5mの「棟木」に据え付けられる珍しい風景に、周辺住民や境内にある金沢幼稚園の子どもたちが見入った。

金沢・東別院

1トンの鬼瓦 天高く

鬼瓦は木製で、表面が厚さ0・5mの銅板で覆われている。本体はてっぺんに「経の巻」と呼ばれる飾りがあり、高さ1・4m、幅、奥行き各1・1m。左右に「ヒレ」と呼ばれる幅1・8mの部材が付く。13日は本堂裏で「瓦上げ式」が當まれ、勤行の後、小林斎輪番らが瓦を除幕した。工事中の本堂はシーケンス

本堂屋根に据え付け

ふき替え工事
来年6月完了

トですっぽり覆われているが、てっぺんの一部が開けられ、棟木に登った作業員が鬼瓦を固定した。作業は午後2時ごろから夜まで行われ、14日も続く。

昨年7月に始まった「ふき替え工事は計画通り進んでおり、来年2月にシートと足場の撤去、同6月に完工を予定している。

小林輪番は「新しくなる



クレーンで鬼瓦の一部をつり上げる作業員